

文部科学省におけるがん対策について

平成21年度概算要求額:234億円(平成20年度予算額:203億円)

戦略目標:我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

がんの本態解明

- ・科学研究費補助金
(特定領域研究5領域)
学横断的な発想と先端科学技術の導入
に基づくがんの本態解明の飛躍的推進
(H21要求額:45億円)

トランスレーショナル・リサーチ

- ・橋渡し研究支援推進プログラム
がんや難治性疾病等の重大な疾患に対する有望な基礎研究の成果を着実に実用化させ、国民へ医療として定着させることを目指す
(H21要求額:61億円)
- ・分子イメージング研究プログラム
創薬プロセスの改革、疾患の診断技術等の開発を推進
(H21要求額:12億円)

革新的ながん治療法等の研究開発

- ・放医研におけるがん治療研究等
「重粒子線がん治療法」等の開発を推進
(H21要求額:69億円)
- ・粒子線がん治療に係る人材育成プログラム
専門知識等を有する人材をオン・ザ・ジョブ・トレーニング等で育成(H21要求額:0.8億円)
- ・国立大学法人運営費交付金等の確保
大学におけるがん治療研究等を推進
(H21要求額:20億円)
等

大学におけるがんに関する教育・診療

がんプロフェSSIONAL養成プラン

がん医療の担い手となるがん専門医師及びがん
に特化した医療人の養成を行うための大学の取
組みを支援
(H21要求額:25億円)

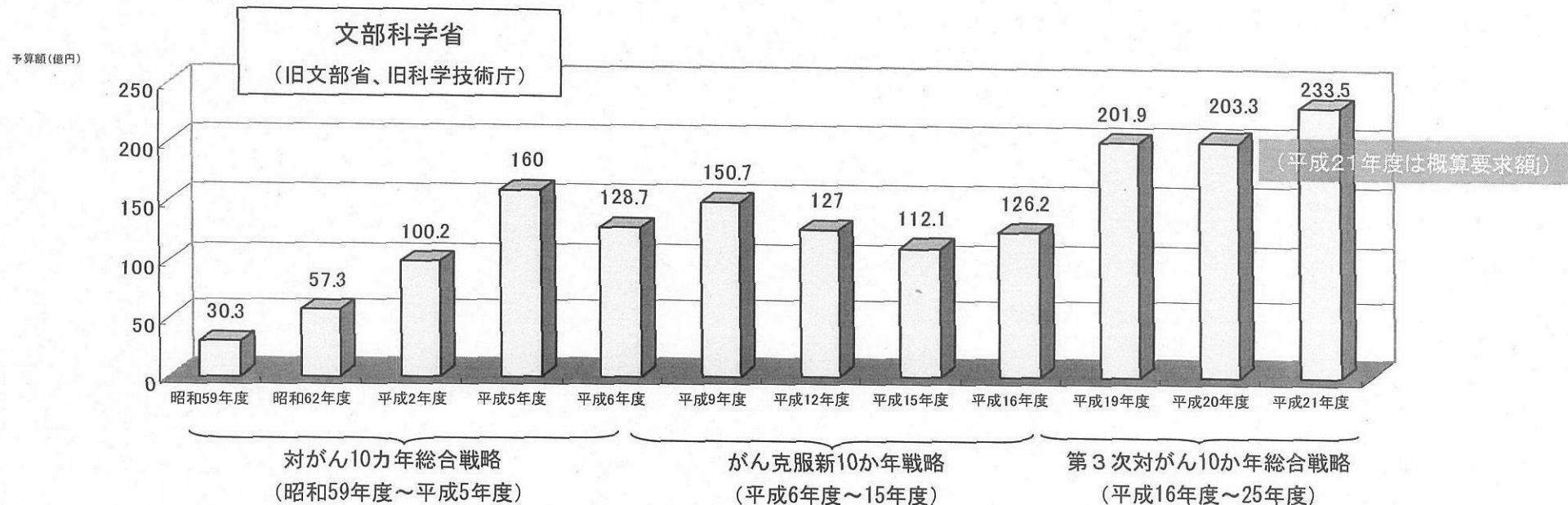
医学部教育における取組

「医学教育モデル・コア・カリキュラム」
に基づくがんに関する教育の実施

大学病院における取組

がんセンター等の横断的ながん治療等を行
う診療組織の設置等による診療の充実

①対がん戦略に係る予算額の推移について(文部科学省分)



②平成20年度予算案について(文部科学省分)

単位: 億円

項目名	平成20年度予算額	平成21年度概算要求額	増△減額
科学研究費補助金(特定領域研究5領域)	45.0	45.0	0
革新的ながん治療法の開発に向けた研究の推進(がんトランスレーショナル・リサーチの推進)	6.0	-	△6.0
橋渡し研究支援推進プログラム	17.5	61.0	43.5
分子イメージング研究プログラム	12.0	12.0	0
粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	0.8	0.8	0
がんプロフェッショナル養成プラン	19.0	25.0	6.0
放射線医学総合研究所におけるがん治療研究等(重粒子線がん治療研究、分子イメージング研究等)	74.3	68.8	△5.5
国立大学法人運営費交付金等の確保	28.1	19.5	△8.6
その他独立行政法人におけるがん治療研究の推進	0.5	1.3	0.8
合計	203.3	233.5	30.2

がんプロフェッショナル養成プラン

(前年度予算額 19億円)
平成21年度要求額 25億円

がん(腫瘍)に関わる人材養成・研究推進と大学院教育の充実化



【がん対策基本法(H18.6)】

第14条 国及び地方公共団体は、手術、放射線療法、化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の養成を図るために必要な施策を講ずるものとする。

【がん対策推進基本計画(H19.6)】

重点的に取り組むべき課題

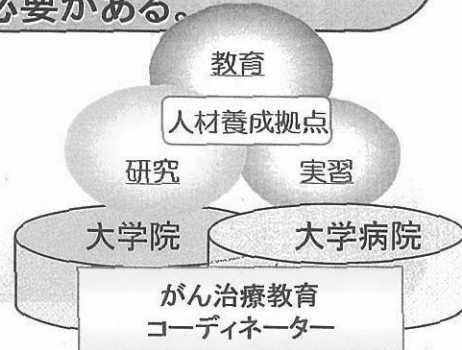
- ①放射線療法及び化学療法の推進並びにこれら専門的に行う医師等の育成
- ②治療の初期段階からの緩和ケアの実施
- ③がん登録の推進

○わが国の死因第1位(H18年:全死因の30.4%)の疾患である、がんについて横断的・集学的に診療できる専門医等の人材養成のための実施体制の整備を図る必要がある。

○優れたがん専門家を養成するための横断的な教育プログラムの構築と実施

○実地修練を支援する体制の整備

- ◆医師のための「腫瘍専門医師養成コース」
- ◆コメディカルのための「がん医療に携わる職業人養成コース」
- ◆医師等のための「がん専門インテンシブコース」



事業内容

●期待される効果

大学病院とがん診療連携拠点病院等において緊密なネットワークが構築され、

○がんに関する幅広い知識や高度な技術を有する多くの専門医等の育成

○がん医療水準の向上(均てん化)

により、全国どこでも最適ながん医療が受けられ、がん治癒率、がん患者のQOL等の向上が図られる。

●実施体制の整備・充実

教育プログラムの実施体制のさらなる充実のための整備・強化

- 教育研究組織(講座等)の整備
- 緩和ケア等の教育の充実等

●採択実績

採択: 18件(参画92大学)



「がんプロフェッショナル養成プラン」の選定事業一覧

申請担当大学	共同申請大学	取組名
札幌医科大学	北海道大学 旭川医科大学 北海道医療大学	北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム ～大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指して
東北大学	山形大学 福島県立医科大学	東北がんプロフェッショナル養成プラン
秋田大学	岩手医科大学 岩手県立大学 弘前大学	北東北における総合的がん専門医療人の養成 [サブタイトル]がん多発地域におけるがん医療均てん化のための全人的がんプロフェッショナル育成システムの構築
自治医科大学	国際医療福祉大学	全人的ながん医療の実践者養成
群馬大学	獨協医科大学 県立県民健康科学大学	北関東域連携がん先進医療人材育成プラン ～重粒子線照射装置を中心とした集学的がん治療法の確立・普及を目指して～
千葉大学	筑波大学 埼玉医科大学	関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点
東京大学	横浜市立大学 東邦大学 日本大学	横断的ながん医療の人材育成と均てん化推進
東京医科歯科大学	東京工業大学 日本医科大学	がん治療高度専門家養成プログラム
北里大学	慶應義塾大学 (※共立薬科大学) 聖マリアナ医科大学 東海大学 山梨大学 首都大学東京 聖路加看護大学 信州大学 東京歯科大学	南関東圏における先端的がん専門家の育成 ～患者中心のチーム医療を牽引する人材養成の拠点づくり～
順天堂大学	明治薬科大学 東京理科大学 立教大学 新潟大学	実践的・横断的がん生涯教育センターの創設
金沢大学	富山大学 福井大学 金沢医科大学 石川県立看護大学	北陸がんプロフェッショナル養成プログラム ～ICTによる融合型教育システム及び「がんプロネット」の構築～
名古屋大学	浜松医科大学 名城大学 名古屋市立大学 愛知医科大学 岐阜大学 岐阜薬科大学 藤田保健衛生大学	臓器横断的がん診療を担う人材養成プラン 副題:グローバルスタンダードにかなうメディカルオンコロジーチームの育成
京都大学	三重大学 滋賀医科大学 大阪医科大学	高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成
大阪大学	和歌山県立医科大学 奈良県立医科大学 京都府立医科大学 兵庫県立大学	チーム医療を推進するがん専門医療者の育成 ～集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで～
近畿大学	大阪市立大学 神戸大学 兵庫医科大学 大阪府立大学 神戸市看護大学	6大学連携オンコロジーチーム養成プラン ～近畿圏のがん医療水準の向上と均てん化を目指した国公立大連携プロジェクト～
鳥取大学	広島大学 島根大学	銀の道で結ぶがん医療人養成コンソーシアム (中国地方中山間地のがん医療均てん化を目指す)
岡山大学	愛媛大学 香川大学 川崎医科大学 高知大学 高知女子大学 徳島大学 山口大学	中国・四国広域がんプロ養成プログラム ～チーム医療を担うがん専門医療人の育成～
九州大学	久留米大学 産業医科大学 福岡大学 福岡県立大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 九州看護福祉大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学	九州がんプロフェッショナル養成プラン

※共立薬科大学は平成20年度より慶應義塾大学と統合。

計 18 件(92大学)